

第19回公認パラスポーツ指導者全国研修会 開催要項


全体テーマ「パラスポーツを通して活力ある共生社会の実現を！」～指導の専門性を高める～

1. 目的 公認パラスポーツ指導者が、本研修において様々な情報を得ることにより、地域での活動や指導に伴う不安を解消し、今後の活動に対する意欲を高めると共に、指導者の資質向上につなげることを目的とする。
2. 主催 公益財団法人日本パラスポーツ協会
3. 後援 東京都
4. 協力 障がい者スポーツ指導者協議会関東ブロック 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会
東京都障害者総合スポーツセンター 東京都パラスポーツ指導者協議会
5. 主管 第19回公認パラスポーツ指導者全国研修会実行委員会
6. 日程 令和6年12月14日(土)、15日(日) ※集合(対面)型の研修のみですので、ご注意ください。

【1日目】令和6年12月14日(土)		【2日目】令和6年12月15日(日)	
受付	12:30~13:00	受付	8:45~9:00
開会式	13:00~13:30	分科会	9:00~12:00
分科会	13:45~16:45	閉会式	12:05~12:15

7. 会場 東京都障害者総合スポーツセンター
〒114-0033 東京都北区十条台1-2-2 TEL 03-3907-5631

8. 申込方法

参加定員	200名(予定) ※定員を超える場合は抽選予定	
申込方法	参加申込フォーム 以下のURL、もしくは右の二次元バーコードよりお申込みください。 https://forms.office.com/r/2tAvT4qLnY	
	申込書(郵送やメール)による申し込みを希望する場合は、問合せ先までご連絡ください。	
申込期間	令和6年9月20日(金)～10月25日(金)	
参加決定	申込期間終了後、11月15日頃に参加決定通知を郵送いたします。 各分科会の申込者が定員を超えた場合は、参加分科会の変更や抽選となることがございますので、ご了承ください。	
支払方法	参加決定通知にて、支払先をご案内いたしますので、指定された期限までにお支払いを完了してください。 ※手数料は自己負担となります。	
その他	参加費のお支払いをもって、申込完了となります。 参加費は、主催者の責による事由で開催を中止した場合以外、原則返金いたしません。	

9. 参加対象者 および 参加費

参加区分により、参加費が異なりますのでご確認ください。

参加区分	対象者	金額
①	公認パラスポーツ指導員(初・中・上級)、公認パラスポーツコーチ、公認パラスポーツトレーナー、公認パラスポーツ医	3,000円
②	資格取得認定校関係者	3,000円
③	資格取得認定校在学学生	2,000円
④	その他	4,000円

※区分①は令和6年度の登録更新手続きが完了している方です。未更新の方は、手続き後にお申し込みください。

10. 内容 分科会は、以下より2つの内容を受講することが可能です。

[分科会 12/14(土) 13:45~16:45 ・ 12/15(日) 9:00~12:00]

分科会 テーマ / 研修内容(予定)	
第1分科会 共に学ぼう！安全に楽しくできるスポーツ場面づくり ～多種多様な障がいのある方々とのスポーツ交流を通じて～	
講師: 屋敷 可奈恵 氏(公益社団法人東京都障害者スポーツ協会)	
日頃から多種多様な障がいのある方々が、様々なスポーツ活動をしている障がい者専用スポーツ施設のスタッフと共に、障がいの種類や程度に応じたスポーツ指導法と留意点について、座学と障がい者とのコミュニケーションを通じて学びます。また、障がい者にも参加していただき、受講生と一緒に運動・スポーツ・レクリエーション・身体活動を安心・安全に、そして楽しく行う上でのポイントを実技・演習を通じてお伝えします。	
第2分科会 パラスポーツ指導員も知っておきたいスポーツ外傷・障害の基礎と予防策	
講師: 浦川 宰 氏(埼玉医科大学病院 理学療法士)	
怪我をしてしまったらスポーツは楽しめません。スポーツの怪我(スポーツ外傷・障害)は、適切な姿勢や動きを知ることである程度防ぐことができます。この分科会では、スポーツ外傷・障害の基礎知識を学び、実際に姿勢や動作のチェック方法などについて実技を交えて学びます。またパラスポーツでは、背景障がいによっても発生しやすいスポーツ外傷・障害の特徴がありますので、これを考慮した指導方法についても考えていきましょう。	
第3分科会 肢体不自由者のスポーツ指導方法 ～脳原性麻痺者の転倒場面をリスクマネジメントとトレーナビリティの視点から考える～	
講師: 佐藤 敬広 氏(東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科)	
障がい者にスポーツを指導・支援する際に起こり得る「転倒」。その背景には様々な要因が考えられます。「転倒」はリスクが伴う一方で、楽しく一生懸命に取り組もうとするが故に起こり得る事象の一つでもあります。本分科会では、グループワークと簡単な実技を通じて、脳原性麻痺者に起こり得る転倒場面について、様々なケースを想定しながらリスクマネジメント(危機管理)とトレーナビリティ(能力の向上)の両面から考えます。	
第4分科会 東京消防庁救急隊長経験者から「スポーツ現場での事故事例と応急手当を学ぶ」	
講師: 内田 元高 氏(国土館大学体育学部スポーツ医科学科)	
パラスポーツ現場で多い事故事例を中心に、転倒・骨折・頭部打撲の外傷、てんかん発作、意識レベルの低下など、救急活動の現場経験豊富な講師から、公認パラスポーツ指導員として必要な事故防止の安全管理や迅速・的確な応急手当の重要性など、実践力を高める講義と実技を学びます。特に、一生に一度しかないかもしれない救急要請に戸惑いがちな現場での対応ポイント、知識・技術を身につけることを目標にします。	
第5分科会 インクルーシブな体育・スポーツ活動の先端事例と課題	
講師: 安井 友康 氏(北海道教育大学札幌校)	
日本におけるインクルーシブな活動に関する実際の様子とともに、障がい者のスポーツ活動が盛んなドイツの取り組み事例などについて映像を含めて紹介する。事例を通して活動における工夫点などをワークショップ形式で学ぶと共に、インクルーシブなスポーツ活動を企画したり実施したりする際の、留意点や活動の展開方法などについて考える。	
第6分科会 関東ブロックからの情報発信 ～最重度の障害児・者のスポーツ ～学校体育から生涯スポーツへ～	
講師: 山田 晴信 氏(日本ハンドサッカー協会 / 東京都立光明学園)	
東京都では、肢体不自由特別支援学校の生徒と教員が体育の授業実践を通して創りあげた「ハンドサッカー」という競技が盛んにおこなわれています。立位の生徒から医療的ケアのある最重度の生徒まで、同じフィールドで競い合う集団球技という特徴があります。「ハンドサッカー」の意義やルールの説明(実技含む)から、生涯スポーツとしての展開まで、ハンドサッカームーブメントをご紹介します。	

※内容は変更になる場合があります。詳細は参加決定通知にてご案内いたします。

11. 報告書

本研修会の内容をまとめた報告書を作成いたします。(令和7年4月頃お届け予定)

購入を希望される方は、全国研修会の参加申込フォームからお申込みください。

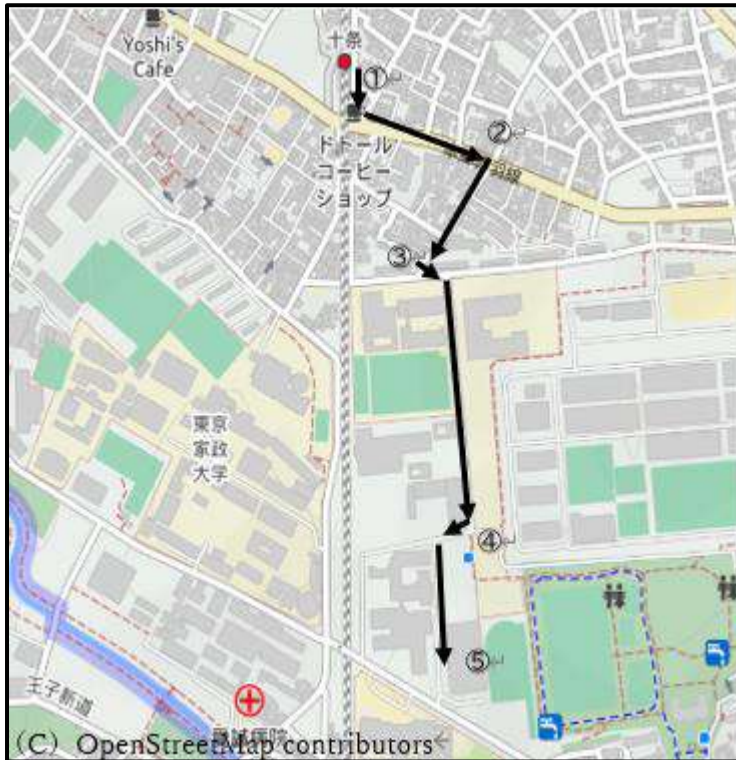
全国研修会に参加せずに報告書のみ希望の方は、問合せ先までご連絡ください。

12. 会場

東京都障害者総合スポーツセンター

〒114-0033 東京都北区十条台1-2-2

TEL 03-3907-5631



[最寄駅]

●JR 埼京線

十条駅南口から徒歩約15分

- ① JR(ジェイアール)埼京線十条駅南口を出て、点字ブロック沿いに直進し、大通りで左折。
- ② そのまま点字ブロック沿いに直進し、ファミリーマート北区上十条一丁目店の信号機付き横断歩道を渡り、右斜め前の細い路地を直進。
- ③ 左右を団地に挟まれたT字路に出たら左折し、東京成徳大学の看板側にすぐ右折してそのまま点字ブロック沿いに直進。
- ④ 公園入口に突き当たったら右折し、坂を上り左折。
- ⑤ しばらく直進し、左手にセンター正面入口到着。

13. その他

- ・研修会開催中において、記録・報告用の写真を担当者が撮影いたしますので、予めご了承ください。
 - ・本研修会は、公認パラスポーツトレーナーおよび公認パラスポーツ医の資格更新条件の指定研修会となります。
 - ・本研修会は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の研修実績となります。
- (ただし、日本スポーツ協会と日本パラスポーツ協会双方の資格所持者対象)

【問い合わせ】 ※研修会全体に関する問い合わせ先です。

◎公益財団法人日本パラスポーツ協会 スポーツ推進部 小島・富永・鈴木亜

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 2-13-6

TEL:03-5695-5420 FAX:03-5641-1213 E-mail : koushu-entry@parasports.or.jp